

1番 ^{すずきちあき}鈴木千晶議員

1 ピアサポートの重要性について

(答)鈴木千晶議員のおっしゃるとおり、同じ苦しみや生きづらさを抱える当事者や経験者が互いを支え合う、ピアサポートにつきましては、ストレスや孤立感等の軽減に有効なものであると認識しております。

本市では、これまでも毎月ニコリにおいて、障がい者の家族の皆様が集い、同様の悩みや経験を共有し、相談しあう情報交換の活動を行っている「韮崎市心身障がい児(者)父母の会」や、韮崎市社会福祉協議会で実施している甘利山へのハイキングや、パン作り、ミニキャンプ等の活動を通じて交流や親睦を深めることのできる「おひさまの会」などの活動を支援してまいりました。

議員が新たに取り組まれている「decoboko no kai」での交流会や、映画上映、講演会などは、まさにピアサポートの役割を果たすための素晴らしい活動として、本年度、「韮崎市地域まちづくり活動補助金」による支援を決定したところであります。

本市といたしましても、誰一人取り残さない社会を築くため、議員とともに、ピアサポート活動の理解促進や居場所づくりについて取り組んでまいります。

ほりうち み つ こ
2番 堀内美津子議員

1 山岳資源の保全と活用について

(答) 堀内美津子議員のおっしゃるとおり、甘利山は、レンゲツツジの群生地や南アルプスへの登山の玄関口として知られ、県内外より多くの観光客や登山者が訪れる本市を代表する観光名所の一つである一方、様々な課題も浮き彫りになっております。

このため、市民をはじめ各種団体の皆様との協働でレンゲツツジの下草狩りを行う「甘利山クリーン大作戦」を毎年実施しているほか、駐車場の区画線を整備し、適正な台数を確保するための対策や、キャンプ場の新設による新たな客層の誘致、また、NPO法人甘利山倶楽部の皆様と連携して校外学習や出前講座を実施し、豊かな自然環境を次世代に繋ぐ取り組みを行っているところであります。

さらに、本年度、甘利山に関わる山岳関係者等からなるワーキング会議を立ち上げ、課題や今後取り組むべき施策の洗い出しを行っているところであり、それらを改善するため、「甘利山環境保全協力金」を募集する取り組みも開始いたしました。

引き続き、甘利山をはじめ、山岳資源の恩恵を活かした魅力ある地域づくりに、議員とともに取り組んでまいります。

2 韮崎駅構内の情報発信スペースの活用について

(答) 当該スペースにつきましては、平成29年3月にキオスクが閉店して以降、民間事業者の入居を経て、現在はニコリ1階の地域情報発信センターが運営する「にらさき情報掲示版」として活用しております。

議員が、本年2月に取り組まれた、山岳資源のPR展示やそれに伴うアンケート調査につきましては、本市といたしましても、今後の利活用に向けて大変参考になるものと考えております。

韮崎駅は、市民の通勤・通学はもとより、登山や観光の玄関口として多くの方々に利用されており、利便性向上や市内への回遊性がさらに高められるよう、情報発信スペースの活用策について、議員ご提案の内容も踏まえながら検討してまいります。

3番 たかはしすみえ 高橋純枝議員

1 食生活改善活動の推進について

(答) 高橋純枝議員ご指摘のとおり、料理教室を通じた食育活動は、健康寿命の延伸はもとより、地域コミュニティの充実に繋がるものと捉えております。

このため、食生活改善推進員の皆様のご協力をいたくなかで、小学生親子を対象とした「おやこ料理教室」のほか、高齢者や男性を対象とした料理教室などを開催しておりますが、残念ながら全地区では実施できず、参加者も決して多くない状況であります。

議員ご提言の直接現場に出向く手法につきましては、小中学校では、学校給食等を通じて計画的な食育教育を行っておりますので、親子でコミュニケーションを深め、家庭の食生活を考える「おやこ料理教室」などを、各地区公民館関係者と連携を密にし、積極的に実施していきたいと考えております。

また、出前塾等を活用する新たなニーズの掘り起こしに努めるなど、今後も皆様と協力し、関心や興味を促す方策を検討するとともに、食生活改善推進員の取り組みを認識していただき、若い世代や地域住民への食育活動の推進に努めてまいります。

なお、市では、食育をはじめとした地域コミュニティの充実を図る観点から、子供たちと子育て家庭が地域とつながる場を提供するため、地域の公民館等を活用した「こども食堂」などの活動に対し、支援を行っております。

食生活改善推進員の皆様には、本事業を実施している団体などから協力要請を受けた際には、是非、連携していただき、コミュニティへ貢献する一助となることを期待しております。

今後も食育活動を通じ、市民の健康と地域の連帯感を育むよう努めてまいります。

ほりいさちこ
4番 堀井幸子議員

1 子どもスポーツ体験の備品整備について【教育委員会答弁】

(答)堀井幸子議員のおっしゃるとおり、スポーツ活動の普及は、住民による活力あるまちづくりや子どもたちの健全な成長に有効かつ重要であると認識しております。

議員ご提言のトランポリンにつきましては、必要に応じてバネの交換や新規購入を検討するなど、安全な使用環境を確保いたします。

また、ボールやフリスビーなどの投げる力や動作を鍛える器具につきましても、利用される方や指導者の意見を伺ったうえで、適切な整備を進めてまいります。

なお、バランス感覚を育む器具につきましては、新設する韮崎中央体育館「東京エレクトロン 韮崎アリーナ」に備えるもののほか、学校や地域のスポーツ団体と連携し、利用状況や必要性を精査した上で、効果的に整備してまいります。

今後も老朽化した器具の適切な点検・補修を進めるとともに、市民の皆様の声を丁寧に向いながら、地域と協力して健全なスポーツ環境の整備に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

はしづめ さ わ こ
5番 橋詰沙和子議員

1 公立小学校の教育の質と教員の働きやすさについて【教育委員会答弁】

(答) 子ども一人ひとりの主体性を育む学びにつきましては、学習指導要領で重視されている、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教師主導ではなく、子どもが主役となる授業を行っております。

さらに、本市は、1人1台端末にiPadを導入し、昨年度の「全国学力・学習状況調査」においても、全国や県より高いICT活用実績を誇っております。

地域との連携につきましては、昨年度、全ての小中学校に学校運営協議会を設置し、地域と学校のビジョンの共有を図ったところであり、さらに本年度は、ゲストティーチャーや地域教材の提供などの授業支援等、地域人材の確保と継続的な参画の仕組みづくりを行ってまいります。

また、教職員の働きやすさにつきましては、「蕪崎市公立学校における働き方改革のガイドライン」を示しており、教職員がワーク・ライフ・バランスの実現を通して、心身ともに健康で、子どもたちと向き合える時間の確保に努めております。

特に、本市では、各校へ学習支援員を多く配置し、教職員一人ひとりの負担を減らすとともに、児童生徒をきめ細やかに指導しているところであります。

教職員の専門性の向上につきましては、年5回、蕪崎市教育研究会を開催し、教材研究や情報交換などを行うほか、本市に初めて赴任した教職員に対し、ICTの利用法について研修会を実施しております。

2 絵本と愛着形成、関係性に基づいた支援について【教育委員会答弁】

(答) 幼少期からの読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものとするために重要であることから、「子ども読書活動推進計画」を策定し、様々な取組みを進めております。

橋詰沙和子議員ご指摘のとおり、ブックスタートでは、市保健師・図書館スタッフのほか、愛育班員の参画により絵本を一人ひとりに手渡し、お互いの顔が見える信頼関係づくりを行っております。

また、大村記念図書館では、乳幼児向けにわらべうたやお話を提供する「だっこの会」、幼児から小学校低学年向けに絵本の読み聞かせや手遊び・紙芝居を行う「おはなし会」をはじめ、子どもたちのぬいぐるみを一晚預かる「ぬいぐるみのおとまり会」のほか、保護者向けの本を揃えた「ママの本だな」を設置し、親子でくつろげる空間も演出しております。

そのほか、子育て支援センターでは、絵本の選び方のアドバイスなどを行う「図書館司書シアター」を実施しております。

引き続き、絵本に親しめる環境づくりや愛育班員と母親同士の関係づくり、絵本を介した親子の触れ合いや愛着形成を促すよう、家庭、地域、学校、並びに関係団体と連携して取り組んでまいります。

いまむらふみこ
6番 今村文子議員

1 児童(低学年)の登下校方法について【教育委員会答弁】

(答) 現在、児童の登下校時における熱中症等の対策につきましては、帽子の着用や、日傘、ネッククーラー、クールタオルの携行、水分補給の推奨などの啓発を保護者に対して行っております。

また、見守り対策につきましては、青色防犯パトロールカーによる巡回とともに、スクールガードボランティア、PTA、教職員が一体となった見守り活動など、地域ぐるみの取組みにより、安全確保に努めているところであります。

なお、今村文子議員ご提言の具体的な検討につきましては、今後も児童生徒の減少傾向が見込まれることから、本年度、子どもたちにとって、より良い教育環境や充実した学校教育を推進するために、どのような学校規模が適正で望ましいかを審議する「韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会」を立ち上げたところであり、通学方法につきましても、明年度以降に地域の状況等も含め、検討することとしております。

7番 ^{にしのさとこ}西野智子議員

1 蕨崎市の政策(事業)立案について

(答)市が実施している各種事業につきましては、「蕨崎市第7次総合計画」に掲げる本市の将来像「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき」の実現のため、まちづくりの基本方向をはじめ、基本方針や指標などの政策目標に合致しているか、具体的な成果が得られるかという点などを重視し検討しております。

また、私の公約との適合性も考慮したうえで、地域の課題解決と住民福祉の向上に繋がるよう本市の特性や資源を活かした施策に取り組んでいるところであります。

なお、西野智子議員ご指摘の目的や意図、効果等につきましては、市民アンケートの実施や地区要望、市長への手紙など、市民の皆様からのご意見も踏まえ、施策の満足度や重要度、喫緊の課題などについて把握するとともに、外部の有識者の意見も踏まえた事務事業評価制度に基づき、市民生活の向上に繋がるよう見直しを行っているところであります。

今後も、限られた財源を有効活用し、より効果的で持続可能な事業の政策立案に努めてまいります。

8番 しむらく み こ 志村久美子議員

1 地区公民館設置のAEDについて

(答)本市では、一般財団法人日本救急医療財団の「AEDの適正配置に関するガイドライン」に沿って、多くの市民が利用する地区公民館などの36の公共施設にAEDを設置しているところであります。

しかしながら、志村久美子議員ご指摘のとおり、これまでは精密機器であるために温度管理が必要なこと、また、いたずらや盗難防止等の観点から、当ガイドラインが望ましいとする24時間利用可能とはなっていない状況であります。

このため、緊急時には、ガラスを割って取り出す運用としておりますが、議員ご提言のとおり、地域住民の命を守り、効果的・効率的な活用が求められることから、屋外設置について、他自治体の先進事例等を参考にしながら、検討してまいります。